

平成21年度 学校保健統計調査結果速報

この速報は、文部科学省が平成21年度に実施した「学校保健統計調査（基幹統計）」のうち児童、生徒及び幼児の発育状態及び健康状態について、本県の調査結果の一部を集計したものです。

調査結果の詳細については、後日「平成21年度茨城県の児童・生徒の体格と疾病（学校保健統計調査結果報告書）」として発行する予定です。

なお、この速報に掲載した数値はいずれも速報値であり、後日文部科学省が公表する数値（確定値）と異なる場合があります。

調査結果の概要

〈A 発育状態〉

1 身長・体重・座高の茨城県平均値

(1)身長

男子の身長は、5～6歳、9歳、12～13歳、16～17歳で前年度より伸びている。各年齢間の身長差は、11歳と12歳の間が7.7cmと最も大きく16歳と17歳の間が0.4cmと最も小さい。なお、6歳の117.2cmと9歳の134.6cmは過去最高となっている。

女子の身長は、5歳、10～11歳、13歳、16歳で前年度より伸びている。各年齢間の身長差は、9歳と10歳の間が7.7cmと最も大きく、16歳と17歳の間が0.2cmと最も小さい。

また、10歳と11歳で2.2cm、女子の身長が男子の身長を上回っている。

表1 男女別年齢別 身長（平均値）－茨城県 (単位：cm)

区 分		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男	21年度	110.9	<u>117.2</u>	122.5	128.4	<u>134.6</u>	138.7	145.0	152.7	159.8	165.3	168.6	170.3	170.7
	20年度	110.7	117.1	122.5	128.4	133.8	139.3	<u>145.9</u>	152.6	159.6	165.4	168.7	169.7	170.6
	差	0.2	0.1	-	-	0.8	△0.6	△0.9	0.1	0.2	△0.1	△0.1	0.6	0.1
女	21年度	110.0	115.5	121.6	127.2	133.2	140.9	147.2	151.7	155.1	156.7	157.3	157.7	157.5
	20年度	109.7	115.9	121.6	127.4	134.0	140.3	146.7	151.9	154.6	156.7	157.3	157.4	158.0
	差	0.3	△0.4	-	△0.2	△0.8	0.6	0.5	△0.2	0.5	-	-	0.3	△0.5

(注) 下線部分は、調査実施以来の過去最高を示す。

(2)体 重

男子の体重は、6歳、9歳、で前年度より増えている。各年齢間の体重差は、14歳と15歳の間が5.8kgと最も大きく、16歳と17歳の間が1.1kgと最も小さい。

女子の体重は、10歳、13歳で前年度より増えている。各年齢間の体重差は、9歳と10歳の間が5.2kgと最も大きく、16歳と17歳の間が0.2kgと最も小さい。

また、10歳では0.2kg、11歳では0.9kg、女子の体重が男子の体重を上回っている。

表2 男女別年齢別 体重（平均値）－茨城県 (単位：kg)

区 分		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男	21年度	19.3	22.0	24.3	28.1	31.9	35.0	39.3	44.7	49.9	54.7	60.5	62.0	63.1
	20年度	19.4	21.9	24.5	28.1	31.7	35.2	40.4	45.4	50.1	55.3	61.0	62.6	63.4
	差	△0.1	0.1	△0.2	-	0.2	△0.2	△1.1	△0.7	△0.2	△0.6	△0.5	△0.6	△0.3
女	21年度	18.9	21.2	23.7	26.8	30.0	35.2	40.2	44.4	48.5	50.4	51.0	52.8	53.0
	20年度	19.0	21.6	23.8	26.8	31.2	34.7	40.7	45.2	47.9	50.9	52.9	53.6	54.2
	差	△0.1	△0.4	△0.1	-	△1.2	0.5	△0.5	△0.8	0.6	△0.5	△1.9	△0.8	△1.2

■調査から

(3)座 高

男子の座高は、5歳、9歳、13歳で前年度より伸びている。各年齢間の座高差は、11歳と12歳、12歳と13歳の間が3.6cmと最も大きく、16歳と17歳の間が0.5cmと最も小さい。なお、9歳の73.2cmは過去最高となっている。

女子の座高は、5歳、10歳、12～14歳で前年度より伸びている。各年齢間の座高差は、9歳と10歳の間が3.9cmと最も大きく、15歳と16歳の差はない。なお、13歳の84.2cmは過去最高となっている。

また、10歳で1.5cm、11歳で1.7cm、12歳で0.8cm、女子の座高が男子の座高を上回っている。

表3 男女別年齢別 座高（平均値）－茨城県

（単位：cm）

区 分	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	21年度	62.3	65.1	67.7	70.4	73.2	74.9	77.7	81.3	84.9	88.2	90.1	90.9	91.4
	20年度	62.0	65.1	67.8	70.5	73.0	75.1	78.2	81.3	84.7	88.3	90.1	90.9	91.6
	差	0.3	-	△0.1	△0.1	0.2	△0.2	△0.5	-	0.2	△0.1	-	-	△0.2
女	21年度	61.9	64.4	67.2	69.8	72.5	76.4	79.4	82.1	84.2	85.0	84.8	85.1	85.1
	20年度	61.5	64.6	67.4	70.1	73.0	76.0	79.4	82.0	83.6	84.9	85.0	85.1	85.6
	差	0.4	△0.2	△0.2	△0.3	△0.5	0.4	-	0.1	0.6	0.1	△0.2	-	△0.5

2 全国値との比較

身長を全国平均値と比較してみると、男子は5～6歳、8～9歳、12～16歳で、女子は5歳、10～11歳、13～16歳で全国平均以上になっている。

体重は、男子は全年齢で、女子は5～14歳、16～17歳で全国平均以上になっている。

座高は、男子は5～9歳、11～14歳で、女子は5歳、10～14歳で全国均以上になっている。

表4 男女別年齢別 体格（平均値）〔全国値との比較〕

区 分	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
身長 (cm)	茨城県	110.9	117.2	122.5	128.4	134.6	138.7	145.0	152.7	159.8	165.3	168.6	170.3	170.7
	全国	110.7	116.7	122.6	128.3	133.6	138.9	145.1	152.5	159.7	165.2	168.5	169.9	170.8
	差	0.2	0.5	△0.1	0.1	1.0	△0.2	△0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4	△0.1
体重 (kg)	茨城県	19.3	22.0	24.3	28.1	31.9	35.0	39.3	44.7	49.9	54.7	60.5	62.0	63.1
	全国	19.0	21.5	24.1	27.2	30.6	34.2	38.4	44.2	49.1	54.3	59.5	61.3	63.1
	差	0.3	0.5	0.2	0.9	1.3	0.8	0.9	0.5	0.8	0.4	1.0	0.7	-
座高 (cm)	茨城県	62.3	65.1	67.7	70.4	73.2	74.9	77.7	81.3	84.9	88.2	90.1	90.9	91.4
	全国	61.9	64.9	67.7	70.3	72.7	75.0	77.6	81.3	84.9	88.1	90.3	91.2	91.8
	差	0.4	0.2	-	0.1	0.5	△0.1	0.1	-	-	0.1	△0.2	△0.3	△0.4
座高 (cm)	茨城県	61.9	64.4	67.2	69.8	72.5	76.4	79.4	82.1	84.2	85.0	84.8	85.1	85.1
	全国	61.5	64.5	67.3	70.0	72.7	75.9	79.3	82.1	83.7	84.8	85.3	85.6	85.7
	差	0.4	△0.1	△0.1	△0.2	△0.2	0.5	0.1	-	0.5	0.2	△0.5	△0.5	△0.6

〈B 健康状態〉

1 主な疾病・異常の被患率の推移

主な疾病・異常の被患率の推移をみると表5のとおりとなっている。

表5 主な疾病・異常の被患率の推移

(%)

区分		むし歯(う歯)			裸眼視力			鼻・副鼻腔疾患の者	
		計	処置完了者	未処置のある者	計	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上		0.3未満
幼稚園	平成12年度	64.1	20.7	43.4	39.3	32.8	6.2	0.3	0.3
	13	61.3	20.6	40.7	22.9	15.8	6.7	0.4	0.0
	14	62.8	22.2	40.6	26.8	17.0	9.4	0.4	0.1
	18	60.9	23.7	37.2	X	X	X	X	1.0
	19	59.8	21.3	38.6	25.0	18.9	4.9	1.1	2.3
	20	52.9	17.8	35.1	X	X	X	X	0.8
	21	53.8	18.3	35.6	X	X	X	X	0.8
小学校	平成12年度	81.8	37.8	44.1	23.5	9.5	8.8	5.2	2.8
	13	81.4	34.9	46.6	24.9	10.8	8.4	5.7	2.9
	14	74.7	33.5	41.2	22.5	9.1	8.1	5.3	3.2
	18	71.9	32.5	39.3	23.7	9.7	9.0	5.0	6.0
	19	70.1	31.0	39.2	26.8	10.0	10.2	6.6	4.0
	20	69.5	30.4	39.1	26.9	10.6	10.7	5.6	5.5
	21	66.7	30.7	36.0	28.4	10.2	11.2	7.0	5.7
中学校	平成12年度	79.5	41.8	37.6	48.0	12.4	14.2	21.4	1.1
	13	79.1	40.4	38.6	48.9	11.5	15.1	22.3	2.0
	14	77.7	41.4	36.3	46.8	10.8	15.2	20.9	2.2
	18	68.1	37.9	30.2	45.4	10.3	16.3	18.8	3.9
	19	64.0	30.1	33.9	50.9	10.3	16.1	24.6	4.3
	20	61.6	32.7	28.8	51.2	10.3	16.7	24.2	5.5
	21	56.2	29.6	26.5	51.1	11.1	18.1	21.8	5.1
高等学校	平成12年度	86.2	53.1	33.1	67.1	9.6	18.0	39.5	3.3
	13	84.9	49.2	35.8	64.5	11.2	16.8	36.5	2.4
	14	83.2	50.6	32.6	62.3	10.8	16.1	35.4	4.9
	18	70.7	41.4	29.4	68.7	10.6	15.2	42.9	14.3
	19	71.9	37.9	34.0	64.4	12.5	17.0	35.0	2.2
	20	70.5	33.5	37.1	X	X	X	X	2.7
	21	61.4	35.3	26.1	64.6	10.4	16.0	38.1	4.3

(注) 平成15年度～17年度は都道府県別の数値は公表していない。

平成14年度までの調査対象：調査実施校の各学年ごとに抽出された学級全員。

平成18年度の調査対象：調査実施校に在籍する全児童生徒。

「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

小数点以下第2位を四捨五入している。以下の各表において同じ。

2 むし歯(う歯)のある者の割合

むし歯のある者の割合(処置完了者を含む。以下同じ。)は、幼稚園53.8%、小学校66.7%、中学校56.2%、高等学校61.4%となっており、小学校、中学校、高等学校で前年度より低下しているが、幼稚園、小学校、中学校では、被患率が最も高い疾病・異常となっている。

全国と比較すると、幼稚園は7.3ポイント、小学校は4.9ポイント、中学校は3.3ポイント全国平均を上回っている。

年齢別にみると9歳が73.4%と最も高くなっている。

表6 学校段階別 むし歯の者の割合

(単位：%)

区分		計			処置完了者			未処置歯のある者		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
幼稚園 (5歳)	茨城県	53.8	55.6	52.0	18.3	17.5	19.1	35.6	38.1	32.9
	全国	46.5	47.6	45.3	18.8	19.1	18.4	27.7	28.5	26.9
	差	7.3	8.0	6.7	△0.5	△1.6	0.7	7.9	9.6	6.0
小学校	茨城県	66.7	68.8	64.5	30.7	31.6	29.8	36.0	37.3	34.8
	全国	61.8	63.3	60.3	30.3	30.7	29.9	31.5	32.5	30.4
	差	4.9	5.5	4.2	0.4	0.9	△0.1	4.5	4.8	4.4
中学校	茨城県	56.2	54.6	57.8	29.6	27.9	31.5	26.5	26.8	26.2
	全国	52.9	51.0	54.8	28.8	27.0	30.7	24.1	24.0	24.1
	差	3.3	3.6	3.0	0.8	0.9	0.8	2.4	2.8	2.1
高等学校	茨城県	61.4	60.1	62.8	35.3	32.6	38.2	26.1	27.6	24.6
	全国	62.2	59.6	64.8	34.7	31.9	37.7	27.5	27.8	27.1
	差	△0.8	0.5	△2.0	0.6	0.7	0.5	△1.4	△0.2	△2.5

3 裸眼視力1.0未満の者の割合

裸眼視力1.0未満の者の割合は、小学校28.4%、中学校51.1%、高等学校64.6%となっており、高等学校では被患率が最も高い疾病・異常となっている。

前年度と比較すると、小学校では前年度より上昇している。

全国と比較すると、小学校は1.3ポイント、中学校は1.4ポイント全国平均を下回っているが、高等学校では5.2ポイント上回っている。

年齢別にみると、0.3未満の者の占める割合が年齢が進むにつれて高くなっている。

表7 学校段階別 裸眼視力1.0未満の者の割合 (単位：%)

区 分	計			1.0未満～0.7以上			0.7未満～0.3以上			0.3未満			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
幼稚園 (5歳)	茨城県	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	全 国	24.9	24.1	25.7	18.8	18.5	19.1	5.5	5.1	5.9	0.6	0.5	0.7
	差
小学校	茨城県	28.4	35.3	31.5	10.2	9.1	11.2	11.2	10.3	12.1	7.0	5.8	8.2
	全 国	29.7	26.9	32.6	10.9	10.1	11.8	11.5	10.6	12.5	7.3	6.3	8.3
	差	△1.3	8.4	△1.1	△0.7	△1.0	△0.6	△0.3	△0.3	△0.4	△0.3	△0.5	△0.1
中学校	茨城県	51.1	45.0	57.4	11.1	10.6	11.6	18.1	17.2	19.1	21.8	17.2	26.8
	全 国	52.5	48.3	56.9	12.5	12.5	12.6	18.0	17.5	18.6	22.0	18.4	25.8
	差	△1.4	△3.3	0.5	△1.4	△1.9	△1.0	0.1	△0.3	0.5	△0.2	△1.2	1.0
高等学校	茨城県	64.6	59.8	X	10.4	12.9	X	16.0	17.2	X	38.1	29.7	X
	全 国	59.4	58.1	60.7	13.6	14.5	12.6	18.1	18.0	18.2	27.7	25.6	29.8
	差	5.2	1.7	...	△3.2	△1.6	...	△2.1	△0.8	...	10.4	4.1	...

[X]は疾病・異常被患率の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

4 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、幼稚園0.8%、小学校5.7%、中学校5.1%、高等学校4.3%となっており、前年度と比較すると、中学校は前年度より低下しているが、小学校、高等学校とも前年度より上昇している。

全国と比較すると、すべての学校段階で全国平均を下回っている。

年齢別にみると、9歳が8.6%と最も高くなっており、小学校、中学校の学校段階で割合が高くなっている。

表8 学校段階別 鼻・副鼻腔疾患の者の割合 (単位：%)

区 分	計	男	女	
幼 稚 園 (5歳)	茨 城 県	0.8	1.2	0.4
	全 国	4.0	4.7	3.3
	差	△3.2	△3.5	△2.9
小 学 校	茨 城 県	5.7	6.8	4.6
	全 国	12.6	15.4	9.6
	差	△6.9	△8.6	△5.0
中 学 校	茨 城 県	5.1	5.6	4.6
	全 国	10.8	12.7	8.9
	差	△5.7	△7.1	△4.3
高 等 学 校	茨 城 県	4.3	3.5	5.2
	全 国	9.6	10.5	8.7
	差	△5.3	△7.0	△3.5

(注) 本調査の結果報告書(全文)は「いばらき統計情報ネットワーク」に掲載しておりますので、ご参照ください(PDF形式)。

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/kyouiku/gakuhoken21s/index.html>